畜産ニュース

◎県畜産共進会盛会のうちに終る

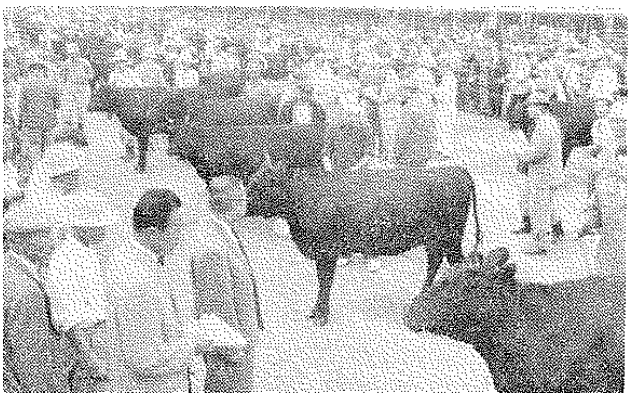
第17回岡山県畜産共進会は、10月7日から10日まで4日間、高梁市の高梁家畜市場で開かれ、出品家畜（和牛132頭、乳牛50頭、山羊17頭、豚18頭　）合計217頭のうちからつぎのように上位入賞がきまった。

（和牛）
１等賞
〔牡〕千難号（34・12・７生）
　　新見市　土居幾造ほか４頭
〔牝１区〕しげ号（35・５・27）
　　上房郡北房町　黒岩忠治郎ほか７頭
〔牝２区〕第３ひでみ（34・12・12）真庭郡美甘村
　　高橋久太郎ほか２頭
〔牝３区〕きみ号（34・５・18）真庭郡落合町　長
　　尾信子ほか８頭
（ホルスタイン乳用牛）
１等賞
〔未経産〕リリスポシュロエムペラー（34・10・24）西大寺市　原勲ほか５頭
〔経産〕オダカルデアエムパイア（31・３・18）小田郡美星町　小玉久ほか３頭
（ザーネン種山羊）
1等賞
こうばらしば１号(35．４．１)総社市神原　岸太郎ほか３頭
（ヨークシャー種豚）
アサウラミントンアサヒ１号（35・９・23）英田郡美作町　松本多穂ほか３頭

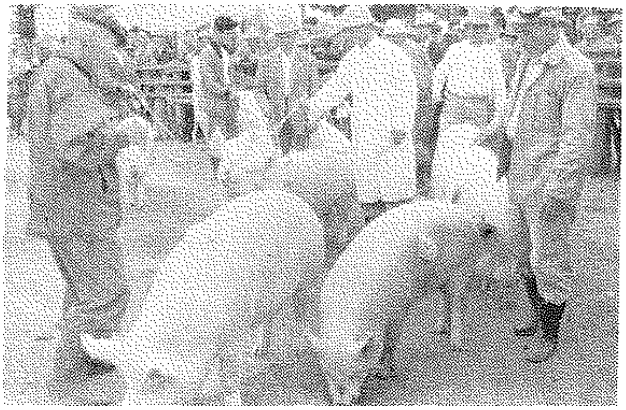
◎多田酪試蒜山分場長スエーデンへ

このたびスウェーデンから輸入されるランドレース種豚の飼育管理を習得するため、酪試蒜山分場の多田昌男技師が、10月18日、羽田発の飛行機でストックホルム経由、コペンハーゲンへ出発する。同技師はストックホルム近郊の養豚農家で実習を行なうなど、ランドレース種豚飼育、改良、繁殖について研修し、11月22日羽田着で帰岡する予定。

◎好成績あげる昭和35年度



和牛審査風景



入賞種豚の展示

鶏産卵能力集合検定

岡山県養鶏試験場では、昭和35年度検定として、昨年11月1日からこの10月16日までの350日間、県下種鶏家から出品された39件（390羽）の種鶏について産卵能力集合検定を行なっていたが、最終日にとりまとめた成績によると、つぎのように白レグのうちから６羽の連産鶏が生まれた。また群成績では総社市の河田郁雄氏出品の白レグ（10羽）が、年間産卵個数で3,115個、重量168.9ｋｇ、産卵率89%で１位となった。

なお優秀な成績をおさめた出品者には12月上旬に県知事賞が授与される予定。

個体成績

順位	依頼者氏名	種類	番号	個数	重量	卵一日平均重
1	邑久町 三宅節太	白レグ	六〇—九一	三三〇個	二、一六g	六二・四
2	井原市 土肥恭介	〃	四四〇	〃	一、九九九	五七・一
3	倉敷市 水野大二	〃	二一五	〃	一、八四七	五三・九
4	総社市 島篤政	〃	二一六	〃	一、五四四	五三・〇
5	鏡野町 久光和夫	〃	二六八	〃	一、四九五	五二・八
6	〃 石田豪士	〃	二九九	〃	一、二九八	五二・一